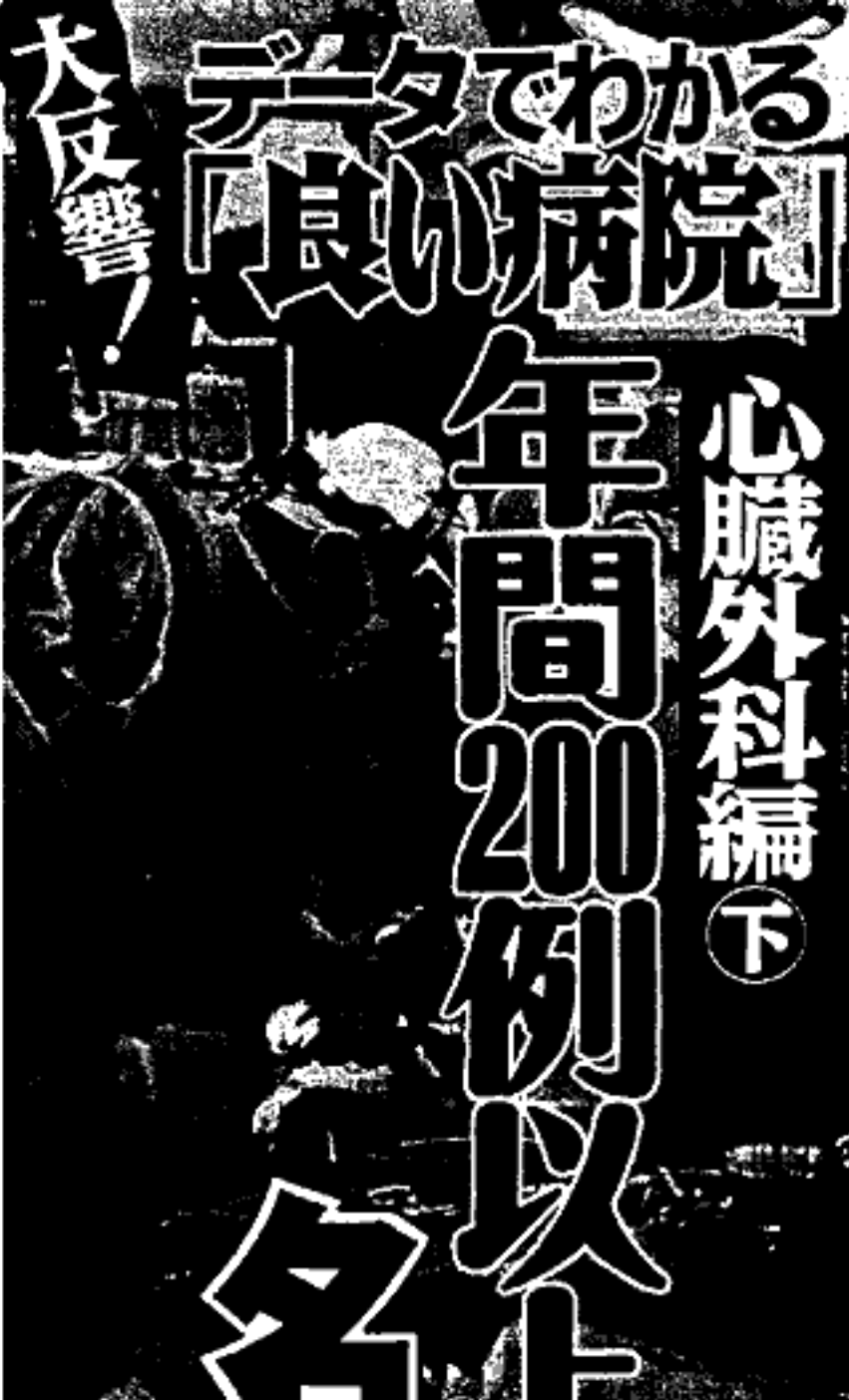


表1.心臓手術200例以上の医師(成人の心臓病)

医師氏名	手術総数	心筋梗塞 狭心症など	弁膜症	胸部大動脈 脈瘤	その他の 心臓手術	経歴・得意分野
1 瀧井 洋史・心臓血管センター北海道大野病院副院長 札幌市 ☎011-665-0020	290	172	63	35	30	85年札幌医大卒。国立補綴器病センター勤務を経て、93年より現病院勤務。01年副院長に。弁形成術が得意。41歳
2 川副 浩平・岩手医科大学附属循環器医療センター長 盛岡市 ☎019-651-5111	309	142	89	45	33	71年奈良県立医大卒。東京女子医大、国立循環器病センター医長を経て、92年より同大教授。弁形成術の名手。56歳
3 天野 篤・昭和大学横浜市北部病院循環器センター長 横浜市 ☎045-949-7000	336	273	38	11	14	83年日大卒。亀田総合病院を経て、91年より新東京病院勤務。01年より現職。症例数は新東京病院で執刀したもの。45歳
4 南淵 明宏・大和成和病院心臓病センター長 神奈川県大和市 ☎046-278-3911	211	179	16	8	8	83年奈良県立医大卒。豪州、シンガポールでレジストラ、湘南鎌倉総合病院などを経て96年現職。低侵襲バイパス術が得意。43歳
5 磯村 正・筑山ハートセンター院長 神奈川県山崎 ☎0468-75-1717	197	94	72	6	25	79年久留米大大学院卒。トロント大留学を経て、97年湘南鎌倉病院部長。00年現病院開設に携わる。左室形成術が得意。50歳
6 島本 光臣・静岡市立静岡病院副院長 静岡市 ☎054-253-3125	262	126	72	39	25	70年京都大卒。72年より現病院勤務。87年心臓血管外科科長。01年現職。冠動脈バイパス術、胸部大動脈瘤手術が得意。55歳
7 大川 育秀・豊橋ハートセンター副院長 愛知県豊橋市 ☎0532-37-3377	207	135	45	19	8	82年岐阜大卒。国立療養所豊橋東病院などを経て、99年より現職。人工心臓不使用の冠動脈バイパス術に早くから着手。44歳
8 田嶋 一喜・名古屋第二赤十字病院心臓血管外科部長 名古屋市 ☎052-832-1121	208	103	47	16	42	80年名古屋大卒。国立循環器病センター、名古屋大などを経て、92年より現病院勤務。腎不全合併症例の手術が得意。45歳
9 夜久 均・京都府立医科大学附属病院心臓血管外科部長 京都市 ☎075-251-5111	215	180	30	-	5	82年京都府立医大卒。国立循環器病センター、豪州留学を経て、97年より現病院勤務。215例中90例が他病院での執刀。44歳
10 笹子 佳門・国立循環器病センター心臓血管外科医長 大阪府吹田市 ☎06-6833-5012	200	110	90	-	-	78年大阪大卒。同大、公立紀南総合病院など勤務を経て、90年より現病院勤務。人工心臓について仏国で教えた経験を持つ。48歳
11 小林 順二郎・国立循環器病センター心臓血管外科医長 大阪府吹田市 ☎06-6833-5012	200	110	90	-	-	84年大阪大大学院卒。同大勤務。92年にアウパマ大パーマソンバ校留学などを経て、94年より現病院勤務。46歳
12 東上 震一・岸和田徳洲会病院心臓血管外科部長 大阪府岸和田市 ☎072-438-8781	306	220	50	20	16	80年和歌山県立医大卒。同大勤務を経て、89年より現職。レーザー心筋内血管新生術が国内最多。47歳
13 大北 裕・神戸大学附属病院呼吸器循環器外科教授 神戸市 ☎078-382-5111	199	76	39	74	10	83年神戸大卒。米国国立心臓病院レジストラ、国立循環器病センター医長などを経て、99年より現職。冠動脈瘤が得意。48歳
14 畑 隆登・十全会心臓病センター神原病院副院長 岡山市 ☎086-225-7111	261	120	112	10	19	76年長崎大卒。国立岩国病院などを経て、87年より現病院勤務。00年岡山大学臨床教授兼務。低侵襲メイズ手術を開発。51歳
15 望月 高明・あかね会土谷総合病院院長 広島市 ☎082-243-9191	209	75	52	24	58	80年広島大卒。米留学などを経て、82年より現病院勤務。92年より院長。虚血性心疾患、弁膜症が専門。56歳
16 岡林 均・社会保険小倉記念病院心臓病センター長 北九州市 ☎093-921-2231	535	289	169	57	20	76年京都大卒。同大、倉敷中央病院などを経て、91年より現病院勤務。オールマイティーな心臓外科区として名高い。49歳
17 坂田 隆造・鹿児島大学附属病院第二外科教授 鹿児島市 ☎099-275-5111	334	181	83	36	24	85年京都大卒。小倉記念病院、熊本中央病院を経て、00年より現職。仏国でも3年間執刀。合併手術の経験が豊富。52歳

※手術総数がわずかに200例に欠ける医師についても、数年来の実績から200例と同等と判断した。

(2000年)



本誌では、これまで2回にわたって、独自アンケートにご協力いただいた年間200例以上の手術をしている心臓外科の病院別手術数とその死亡率を公表してきた。今回、いよいよ、国内トップレベルの心臓外科医名を発表したい。また、子供の心臓病の外科治療についても、興味深いデータを明らかにする。

命を救えたか救えなかったか、後遺症を残さなかったかどうか——結果が歴然としている心臓外科医は、実力の世界である。腕を磨く近道は手術の数をこなすこと。そうすると、ほかの病院の心臓病専門内科医や患者から直接の依頼が増えて手術数も増加し、さらに力がついてゆく。

ここに挙げたのは、年間200例以上(2人は200例未満だが、編集部で数年来の実績を加味)の心臓胸部大血管手術をこなす実力のある心臓外科医である。アンケートに協力いただいた40病院で各医師の手術数について回答した病院のうち、200例以上の執刀数だったのが、ここに挙げ

### 手術数などの評価制度が必要

欧米では、学会や政府が、全国の年間心臓手術総数から必要な外科医の人数を割り出して人数を制限することとで、一人当たりの手術数を多くし、外科医の質を確保している。しかし、わが国では、ある意味、希望する救命率を上げていく。心臓外科手術を受ける時には、ここに挙げられた医師の得意分野を参考にしながら執刀医を選ぶとよいだろう。

心臓血管研究所附属病院の循環器内科医、相澤忠範院長は、こんな指摘をする。何せ日本では、約3000人の心臓外科医がいるといわれる。年間約4万3000件の心臓胸部大血管手術を単純に3000人で割ると一人当たり14例。わが国では、月1回の手術しかしていても、200例以上の手術をこなしているも、肩書は同じ「心臓外科医」である。

「自分が中心になって執刀するようになって、自分の手術に自信が持てるようになるには、それなりの時間がかかる。7、8年かかって通算1500、1600例の手術をして、やっとどんな手術でも自信を持ってこなし、かなり厳しい場面も切り抜けるようになった」

鹿児島大の坂田隆造教授が、そう話すように、患者の生死を左右することもある実際の手術には、経験が要求される。手術を支えるチームの力量も含め、月イチ先生」と200例の実力医の力の差は明らかだ。

欧米では、学会や政府が、全国の年間心臓手術総数から必要な外科医の人数を割り出して人数を制限することとで、一人当たりの手術数を多くし、外科医の質を確保している。しかし、わが国では、ある意味、希望する救命率を上げていく。心臓外科手術を受ける時には、ここに挙げられた医師の得意分野を参考にしながら執刀医を選ぶとよいだろう。

心臓血管研究所附属病院の循環器内科医、相澤忠範院長は、こんな指摘をする。何せ日本では、約3000人の心臓外科医がいるといわれる。年間約4万3000件の心臓胸部大血管手術を単純に3000人で割ると一人当たり14例。わが国では、月1回の手術しかしていても、200例以上の手術をこなしているも、肩書は同じ「心臓外科医」である。

「自分が中心になって執刀するようになって、自分の手術に自信が持てるようになるには、それなりの時間がかかる。7、8年かかって通算1500、1600例の手術をして、やっとどんな手術でも自信を持ってこなし、かなり厳しい場面も切り抜けるようになった」

鹿児島大の坂田隆造教授が、そう話すように、患者の生死を左右することもある実際の手術には、経験が要求される。手術を支えるチームの力量も含め、月イチ先生」と200例の実力医の力の差は明らかだ。